



右下／新規就農にあたり、大勢の地域の人が助けてもらったことへの感謝の気持ちを込めて、ワイナリー名に土地の名前「えべおつ」をつけました。上／念願の醸造所。「江部乙で育ったブドウが素直に良いワインになるように醸造したい」という想いが込められます。

左／ご両親とともにブドウ栽培をしています。家族や地域の人の手でブドウは大切に育てられます。

### 中空知初のワイナリー誕生

北海道滝川市は「中空知地方」の中でも「中空知」という地域に位置しています。滝川市周辺には、そらちワインと相性のいい料理を提供する飲食店が多くあります。毎年、地元食とそらちワインを一緒に楽しむことができる「そらちワイン×ワインFest」@というイベントが開催されており、そらちワインへの注目は年々高まるばかり。このたび、念願の地域初であるワイナリーの誕生で、ワインへの注目度がより一層高まっています。高橋さんがいるような土地を検討したうえで、ブドウの栽培に適していると感じた江部乙町への想いは深く、ブドウやワインを通じて地元へ貢献したいと語ります。

中空知でのワインの新しい歴史のページが始まりました。



### 家族で地域を盛り上げる中核に 中空知地方初のワイナリー

### えべおつWein

Ebeotsu Wein

え

べおつWein(ヴァイン)は、2016年から北海道滝川市

江部乙町でブドウ栽培を始め、2018年ヴィンテージワインをリリースしました。それが、ピノ・ワールなど7品種を混醸した白ワイン「Regenbogen(レーゲンボーゲン)」。ドイツ語で「虹」を意味します。7品種ということ、地域を果樹で盛り上げる架け橋になればとの思いを込めたのだそうです。

そして2023年、中空知地方で初のワイナリーを建設し、自社醸造を始めました。念願の醸造所は風船の力でブドウを絞るフランス製のプレス機、イタリヤ製の醸造タンクなどを備えます。自社の醸造所を構えたことで「スパークリングやロゼ、オレンジなどに挑戦し、レパトリリーを増やしていきたい」と意欲的です。江部乙町はもともと果樹栽培が盛んな地域。いずれは受託醸造も視野に入れていきます。「ワイナリーができることで、ブドウ栽培に取り組んでくれる方が増えると嬉しい。地域の産業拠点として貢献していきたい」と高橋さんは語ります。

### 畑の見学

### WINERY DATA

- 主な栽培品種：ピノ・ノワール、ピノブラン、ピノグリ、ツヴァイゲルトレーベ、ミュラートゥルガウ
- 生産本数：4,500本(2023年) ●栽培面積：2.5ha
- ファーストヴィンテージ：2018年
- ラインナップ：Regenbogen-虹-、der Glanz-輝-、der Schimmer-ほのか-
- 購入方法：酒販店・ワインショップ・電話・FAX



### えべおつWein

〒北海道滝川市江部乙町 東111丁目758  
 ☎ 080-6087-3650  
 ✉ ko.taka1142@gmail.com

<Regenbogen-虹-/750ml>